



招提中学校だより 2月

VOL.10

1月30日(金)発行

生徒数409名

1. 受験と感染症対策

2月になり、3年生はいよいよ入学試験の本番を迎えます。すでに推薦入試を受験した子どもたちもいますが、きっと、大きな緊張の中で試験を受けたことだと思います。入学試験は、これまで積み重ねてきた努力を発揮する大切な機会です。自分を信じ、落ち着いて臨んでほしいと願っています。そのためにも、何よりも大切なのが体調管理です。この時期は、インフルエンザなどの感染症が流行しやすく、体調を崩しやすい時期もあります。学校では、換気や手洗いの励行、必要に応じたマスクの着用など、感染予防に努めています。ご家庭におかれましても、引き続き感染予防へのご協力をお願いいたします。とくに、次の点についてご留意ください。

- ・ 不要不急の外出は避け、人ごみには行かないこと。
- ・ 微熱がある場合や体調がすぐれない場合は、登校を控え医療機関を受診すること。
- ・ 家庭内でも感染予防に気を配り、家族間での感染を防ぐこと。
- ・ 必要に応じて、家庭内でもマスクを着用すること。

この時期を元気に乗り越えることが、受験を乗り越える大きな力となります。一人ひとりが健康に気を配りながら、残りの中学校生活を大切に過ごしてほしいと思います。

2. 新入生入学説明会を実施しました。

1月23日(金)、次年度入学する新入生の保護者の皆様を対象に、入学説明会を実施しました。説明会では、子どもたちの様子を知るために、各クラブが作成した紹介映像をご覧いただきました。代表の子どもたちが自分たちの活動を紹介する姿から、日頃の頑張りや仲間と協力する様子が伝わったのではないかと思います。また、思春期を迎える子どもたちの思いや願いを保護者の皆様に聞いていただき、本当にありがとうございました。

本校では、これからも教職員一同、保護者の皆様と力を合わせながら、子どもたちの成長を支えてまいります。4月に新入生の皆さんが出で笑顔で入学してきてくれることを、心より楽しみにしています。

3. 視察研修へ行ってまいりました

1月29日(木)、軽井沢風越学園へ視察研修に行ってまいりました。この学園は、3歳から15歳の子どもたちが一つの校舎で学ぶ学園で、「子どもも大人も、つくり手である」という考えを大切にしながら、日々試行錯誤を重ねた教育実践を行っておられます。特に、子どもたちの「やりたい！」という思いを出发点とした個人探求の学びが印象的でした。この学園では、一般的な「先生と子ども」という関係ではなく、「スタッフと子ども」という関係性が築かれています。スタッフ(教職員)は、それぞれが呼ばれる名前で子どもたちから呼ばれており、校長先生も親しみを込めて「ゴリ(さん)」と呼ばれていました。研修当日は、9年生(中学3年生)、7年生(中学1年生)の子どもたちが、「風越学園とはどのような学校か」という問い合わせに対し、自分の言葉で語ってくれました。また、これまでの学びを通して自分自身がどのように変化・成長してきたかを、落ち着いて俯瞰的に語る姿が大変印象に残りました。今回の研修を通して、これまで当たり前としてきた講義中心の一斉授業や画一的なカリキュラム、固定的な学級編成など、従来の学校文化を改めて見つめ直す貴重な機会をいただきました。今後の本校の教育活動にも生かしていくたいと考えています。